

授業科目名(英文名) / Course title	災害救援ボランティア論 / Leadership of Disaster Volunteer				
担当教員(所属) / Instructor	奥寺 敬(医学部医学科), 若杉 雅浩(医学部医学科)				
授業科目区分 / Category	教養教育科目 教養科目				
COC + 科目 / COC+Course 平成28年度入学者から適用	地域志向科目	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2017年度 / Academic Year 後期 他	対象所属 / Eligible Faculty	全学部		
時間割コード / Registration Code	106604	対象学年 / Eligible grade	1年, 2年, 3年 , 4年	単位数 / Credits	2.0
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact					
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日				
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
<p>災害救援ボランティア推進委員会は阪神・淡路大震災の教訓を基に、大災害を想定した災害救援ボランティアリーダーの育成・登録活動に当たる民間団体として設立されました。</p> <p>「わが身わが命は自分で守る」というボランティアの基本精神を発揮して、助け合いを大切にしながら、いざという時には率先して自らがその場においてリーダーとなり、周りの人に呼びかけて一人でも多くの人を救い、被害を最小限度に食い止める活動を行います。本カリキュラムでは、この災害救援ボランティアを包括し、富山大学と地域の共同研究の成果を加えた本学独自の科目です。</p> <p>1995年7月17日にライフラインの関係者の那須翔(東京電力会長・当時)、渡辺宏(東京ガス会長・当時)、河野俊二(東京海上火災保険社長・当時)、児島仁(日本電信電話社長・当時)、報道関係者の吉村秀實(日本放送協会解説主幹・当時)、行政経験者の長岡實(日本たばこ産業顧問・当時)教育関係者の澤野裕治(日本法制学会理事長・当時)らが中心となって会をボランティアの民間任意団体として結成し、委員長に石原信雄(元内閣官房副長官)を選出し事務局を公益財団法人日本法制学会内に置きました。会の目的に『大地震等の大規模災害に備えて、災害救援を希望する人たちのための講座を行い、災害救援ボランティアを日常的に教育訓練し、地域防災に貢献していくこと』を掲げ、以後、災害救援ボランティア育成及び地域防災の推進、防災の普及啓発に取り組んでいます。</p> <p>「災害救援ボランティア論」では、この災害救援ボランティア育成のカリキュラムをコアに、富山県の災害と防災対策、富山大学の研究者による独自の研究内容などを加えて、地域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるための学修を提供します。</p>					
達成目標 / Course Goals					
<p>総務省消防庁が示した基準に基づき、災害救援ボランティア推進委員会が推進する認定資格「セーフティリーダー(SL)」及び総務省消防庁の救命講習である、普通救命講習(AED含む)を取得すること。</p>					
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule					
平成30年2月19日(月)から2月22日(木)までの4日間で実施します。					
講義, 実習, 演習, 学外施設見学					
第1回 災害救援ボランティアと危機管理医学(講義)					
第2回 災害時の医療救援活動(講義)					
第3回 災害ボランティア活動の基本(講義)					
第4回 富山県の防災対策(講義)					
第5回 トレーニング 倒れている人をどう救うか(実習)					
第6回 被災地での安全衛生とコミュニケーション(講義)					
第7回 災害時のリーダーシップとチームビルディング(講義)					
第8回 地形図から災害を予測する(講義)					
第9回 防災机上訓練DIG 洪水ハザードマップの活用(実習)					
第10回 都市における減災対策(講義)					
第11回 都市における減災対策(講義)					
第12回 普通救命(心肺蘇生法、AEDの使用法、止血法)(実習)					
第13回 普通救命(心肺蘇生)(講義)					
第14回 災害体験(地震体験、消火体験)(実習)					
第15回 災害体験(煙体験、暴風雨体験)(実習)					
授業時間外学修(事前・事後学修) / Independent Study Outside of Class					
事前学修 シラバスの授業計画の項目について、事前に関連文献やインターネット等を利用して自己学修を行う。					
事後学修 その日の重要なポイントがどこかを、教材・自分のノートで再確認を行い、知識・技能の定着を図る。					
キーワード / Keywords	災害救援, ボランティア, 救命活動, 地域防災, 自主防災				
履修上の注意 / Notices	実習にふさわしい服装で受講すること				
教科書・参考書等 / Textbooks	(予定) 災害・健康危機管理ハンドブック 診断と治療社 ISBN 9784787815316				
成績評価の方法 / Evaluation	講義・実習の参加態度及びレポートによる総合評価				
関連科目 / Related course					
リンク先URL / URL of syllabus or other information					
備考 / Notes					